

令和2元年度(2021)

学校関係者評価報告書

穴吹デザイン専門学校

学校関係者評価報告書

穴吹デザイン専門学校 学校関係者評価委員会は、令和2年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので報告致します。

令和4年1月12日
穴吹デザイン専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため教育活動の観察や意見交換等を通じて、穴吹デザイン専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹デザイン専門学校が行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 委員・教職員

(委員)

岡野 康明 段原地区社会福祉協議会 会長・松川町町内会 会長
吉村 薫 広島県立広島工業高等学校 校長
川上 佳代 有限会社コンセプトワーク 代表取締役・日本グラフィックデザイナー協会 運営委員
山岡 修 穴吹デザイン専門学校同窓会 創進会
山本 明美 穴吹学園保護者会 会長

(学校教職員)

林田 正彦 穴吹デザイン専門学校 校長
尾崎 隆一 穴吹デザイン専門学校 副校長
西尾 通哲 穴吹デザイン専門学校 教務部長・産学連携センター
種田 真幸 穴吹デザイン専門学校 事務局長・就職キャリアセンター部長・産学連携センター長
平田 卓也 穴吹デザイン専門学校 教務部課長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 : 令和4年1月12日(水)15:00~17:00
開催場所 : 穴吹デザイン専門学校 A702教室よりオンラインにて開催

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)と財務状況の報告

当校の「教育理念」「目的」及び「令和2年度の目標と計画」について説明。保護者アンケート結果を報告し、財務状況と自己評価項目について報告。「評価結果(総括)」と「取組状況とその分析」「今後の改善方策等」について報告を行った。書式は穴吹カレッジグループ所定の書式にて実施。各評価項目について、「A」十分である「B」おおむね十分である「C」やや不十分である「D」不十分である の4段階にて評価。

財務状況については貸借対照表と資金収支計算書により説明。適切な経理処理が行われており、財務状況の改善が継続している。

5. 意見交換・質疑応答

●保護者アンケート結果報告について

- ・保護者アンケートについては、学校行事の充実・就職支援について肯定的な評価が多く、学校としての全体評価が上がっている。今後も継続したい。
- ・保護者アンケートは95名から回答を頂いた。オンラインで回答を依頼したため回答が少なかつたかも知れないので次年度は改善したい。
- ・学科ごとに違いはあるが、精神面のサポート・実習設備・進路支援については不満足という意見もある。学生の立場に立った指導を実施するために、頂いた意見を元に改善につなげたい。
- ・授業アンケートについては結果を科目担当にフィードバックし、全体の平均点に近づき超えるよう改善点を共有し全体としての底上げを図っていききたい。
- ・学校生活や行事、就職活動の状況等を共有出来る伝え方が今後のポイントである。情報伝達の方法を考えていきたい。
- ・委員より学校への質問

【岡野委員】

『経済的支援と言うのは具体的にはどのようなものでしょうか？』

→ 学校独自の授業料減免や国の修学支援制度です。制度を利用した保護者からは感謝のご意見を頂いています。

【吉村委員】

『保護者アンケートの回答率・母数はいくつでしょうか？』

→ 回答率は78.5%で母数は121名です。

『報告では就職の項目の評価が高いと感じました。要因は何でしょうか？インテリア関連の就職は大変だと思うのですが。』

→ 会社の見方など学生は視野が狭いので、視野を広げるように職場への引率を実施しています。インテリアの関連の仕事は幅が広いので、職場を見ることで認識が変わり視野が広がります。

→ 就職キャリアセンター職員が1年次に進路支援の授業を実施して、個々の学生の特徴を把握し教務部と連携を取りながら就職支援を行っています。

●自己評価報告書について

自己評価報告書の理念・目的・目標・計画と総括した結果を報告したのちに、評価項目別評価結果について①～⑫までの全ての項目について取り組みと結果を報告した。委員から質問のあった項目は下記の通り。

③教育活動

【岡野委員】

『コミュニケーション能力の向上など、非認知能力の向上には教育が必要だと思います。私も振返れば大学のレポートを通してスキルが伸びたと思いますので。』

→ 1年次に実施する社会人基礎の授業でコミュニケーションの基本や重要性を指導しています。学校生活全般からコミュニケーションの重要性に気付くような関りも行っています。

⑤学生支援

【岡野委員】

『課外活動は人間の幅を広げる意味で重要だと思います。クラブや同好会などはありますか？』

→ クラブ・同好会はありませんが、産学連携などプロジェクトがあった時には学生が集まって取り組んでいます。

⑥教育環境

【山本委員】

『施設・設備の耐震化の項目が×になっています。他の項目はほとんど○なのに大丈夫なのでしょうか？』

→ B棟が該当します。建て替えなどが今後の課題になって来ると認識していますので、引き続き検討したいと考えています。防災や避難訓練等については現在の法律の基準に合わせて実施していますのでご安心下さい。

⑪国際交流

【吉村委員】

『令和2年度はコロナウイルスの影響で交流が出来なかったようですが、それ以前の影響がない時にはどのような交流を行っていたのでしょうか？』

→ コロナウイルスの影響がなかった時は、優秀生を海外の姉妹校に短期間派遣して交流を深める体験をさせて来ました。

→ 他には1週間程度の海外デザイン研修を企画していました。

『留学生は何人在籍していますか？どの学科に何名、どこの国から留学されていますか？』

→ 令和2年度は2名の留学生が在籍しました。インテリアデザイン学科とグラフィックデザイン学科に各1名ずつ、いずれも中国からの留学生です。

その他の意見交換

【岡野委員】

段原地区・松川町の地域代表として、地域清掃活動に学校が協力してくれたことに感謝を申し上げます。

【吉村委員】

授業アンケートや保護者アンケートの評価に甘んじることなく取り組んでいることが改善と向上につながっていると感じます。就職についてももしっかり取り組んでいると感じました。

【川上委員】

カウンセリングの専門家を追加されたり、学生の支援が手厚いと感じます。そのような取り組みが進学させて良かったというアンケート結果につながっていると思います。報告ですが御校OGが新世代の注目デザイナーの書籍に紹介されましたことをお伝えさせていただきます。

【山岡委員】

私も卒業生で娘も今年4月に卒業しました。就職では大変お世話になり感謝しています。入学させて良かったです。ありがとうございました。

【山本委員】

目的を持って楽しい学生生活を送っているようです。日々の学習を通じて出版社の編集の方との道をつけて下さったことに感謝申し上げます。卒業まで宜しくお願いします。

【学校から委員への質問など】

(平田課長)

質問ではありませんがお礼を申し上げたいです。改善などは学内関係者でやりがちですが、この場では外部の方からのご意見が頂けるので本当にありがたいです。

(西尾部長)

学生や保護者のアンケート結果に甘んじず教育の質を高めるように今後も努力を継続します。昨年は今までに経験のないオンライン授業を実施しましたが、様々なメリットがあったのではないかと考えています。例えばですが退学率が令和2年度は減少しました。高等学校でのオンライン授業の実施状況やメリットなど、様子をお聞かせ下さいませんか？

→ 吉村委員

高等学校でもオンライン授業を実施しましたが、初めての取り組みでしたので、今の時点では授業の質や効果については検討中、というお答えです。

(種田部長)

書籍で紹介された卒業生ですが、貴社に入社してから一気に成長したと感じます。日頃の学生との関りで成長をうながすことが難しいですが重要だと考えていますので、どのように関わって行かれたかを教えて下さいませんか？

→ 川上委員

マジックワードがある訳ではないですが、仕事を通じてのお客様との関わりの経験から成長したのではないのでしょうか。クライアントがあって、予算があって仕事を頂ける訳です。頂いた仕事をすることで評価が出る。その評価が成長につながったと思います。

本日は貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待にそえますよう、頂きましたご意見を日々の教育に活かして参ります。今後も宜しくお願い申し上げます。

以上